

Doc.No : NR040224-1

2004年2月24日

世界最大サイズのガラス基板に対応する、 第7世代TFT液晶ディスプレイ用製造装置を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のFPD機器カンパニー(社長：津田 雅也)は、世界最大* のガラス基板サイズ1,870×2,200mmに対応したTFT液晶ディスプレイ用塗布現像装置「SK-1800G」を開発、2004年夏から出荷を開始します。

国内をはじめとするアジアを中心に大型液晶テレビの需要が大きく伸びており、それに伴い30インチクラスの液晶パネル市場が拡大しています。液晶テレビは、2002年には約150万台だった出荷台数が2005年には約1,200万台にまで拡大すると予想されているほか、特に大型のものに消費者の人気が集まっていることから今後は40インチ、50インチクラスといったパネルの大サイズ化が進むと見込まれています。液晶業界では、こうしたパネルの大サイズ化に伴い、生産効率向上を目的としたガラス基板サイズの大型化が進行しており、今後、液晶パネルメーカーの第7世代対応ガラス基板を視野に入れた設備増強の継続が確実とみられています。

今回発売する「SK-1800G」は、このような液晶業界の動向にいち早く対応した装置で、2004年春に発売する第6世代対応の「SK-1500G」で培った技術を応用展開し、第7世代と呼ばれる世界最大サイズ* 1,870×2,200mmのTFT液晶用ガラス基板への感光液塗布と現像を行います。これにより畳2枚分に相当する超大型ガラス基板の処理が可能となるため、37インチ以上の液晶パネルの生産効率が高まり、ガラス基板1枚当たり37インチ(ワイド)で8枚、47インチ(ワイド)で6枚取ることができます。

* 2004年2月24日現在

< 出荷開始予定 >

2004年 夏

< 年間販売目標台数 >

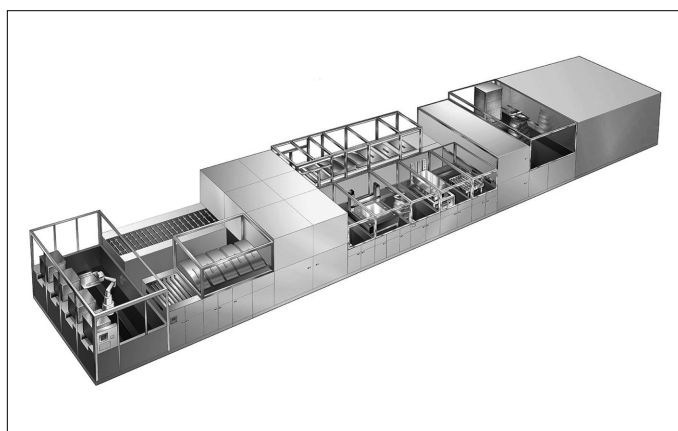
15~20台

< 国内希望販売価格 >

12億6,000万円

(本体価格：12億円、消費税：6,000万円)

※仕様により異なる



SK-1800G

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀南通寺之内上ル4丁目